

中山間地域に居住する高齢者世帯の活動時間の分析

㈸福山コンサルタント 正会員 ○山田敏久
 広島大学大学院国際協力研究科 正会員 藤原章正
 島根県中山間地域研究センター 藤山 浩
 広島大学大学院国際協力研究科 正会員 森山昌幸

1. はじめに

我が国の中山間地域は、過疎化と少子高齢化の2つの社会問題が同時に進行している地域である。また、公共交通サービスが著しく低く、自分で移動できる交通手段の確保が困難な高齢者や移動制約者の交通問題が顕著であり、その対策が急がれる。中山間地域の交通問題を対象とした既往研究は、バスなどの公共交通サービスに主眼が置いたものが多いが、それらはある一時点におけるサービス改善の効果しか把握できない。中山間地域においては僅かな生活の質の向上が一日の全ての活動に大きく影響を与える場合が多いため、終日の活動を対象とした調査や研究が望まれる。

そこで本研究では、中山間地域において世帯を対象としたアクティビティ・ダイアリー調査を実施し、中山間地域の住民の交通実態と一日の活動時間配分の関係について調べることを目的とする。

2. 調査概要

本研究にあたり、平成14年9月に中山間地域である島根県飯石郡掛合町及び同郡赤来町にて1週間のアクティビティ・ダイアリー調査（図1）を訪問配布・郵送回収方式で実施した。調査には個人属性・世帯属性を記入する世帯票と、個人の一日のアクティビティを記入する個人票の2種類を用意した。調査対象者は高齢者が居住する世帯の高校生以上の世帯構成員全員

表1 対象地域の概況及び調査票の回収状況

	掛合町	赤来町	合計
町内人口	4008	3422	7430
町内世帯数	1339	1180	2519
65歳以上人口	34.0%	33.0%	—
面積	111.0km ²	118.0km ²	—
配布世帯数	103	104	207
回収世帯数	69	84	153
回収率	67.0%	80.8%	73.9%
有効調査人数	189	196	385
有効調査票枚数	1301	1332	2633
人口抽出率	4.7%	5.7%	5.2%
世帯抽出率	7.7%	8.8%	8.2%

図1 アクティビティ・ダイアリー調査票（記入例）

とした。表1に対象地域の概況及び調査票の回収状況を示す。

3. 中山間地域における生活パターン分析

3.1. 個人属性データによる集計分析

調査で得られた個人属性のデータを用い、中山間地域における交通実態の把握を集計分析により試みる。

図2に非高齢者・高齢者および免許証保有別の主な交通手段を示す。非高齢者の約90%の交通手段が自動車であるが、高齢者ではその半が送迎となっている。また、免許証非保有者の交通手段の約70%が送迎である。以上より、中山間地域における移動制約者は、高齢者または免許証非保有者であるといえる。

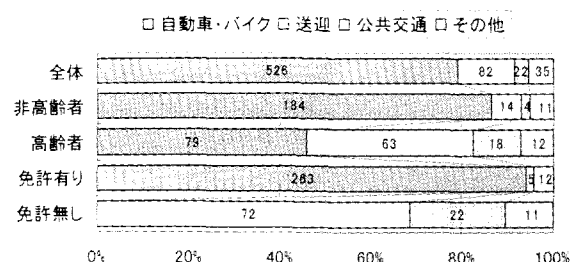


図2 非高齢者・高齢者及び免許証保有別の交通手段

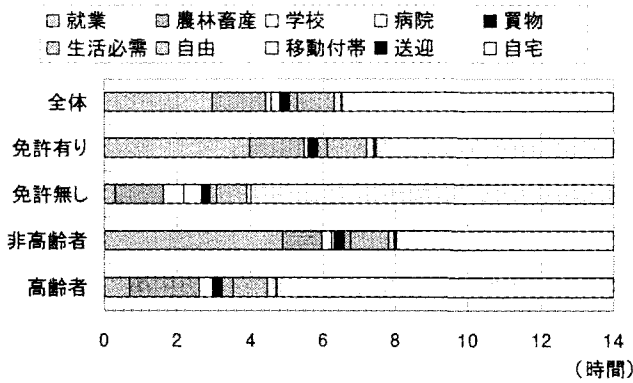


図3 免許証保有の有無，非高齢者・高齢者の時間配分

3.2. 時間データによる集計分析

次に、アクティビティ・ダイアリー・データの特徴の一つである時間データを集計した分析を行い、個人属性と時間配分の関わりについて考察する。ここでは、3.1 で得られた知見に基づき、中山間地域における移動制約者である高齢者および免許証非保有者に着目し分析する。

図3に免許証保有の有無，非高齢者・高齢者の時間配分を示す。便宜上，移動時間は移動直後の活動時間に含んでいる。免許証保有の有無に着目すると，免許証を保有しない人は保有する人に比べ，一日平均約3.5時間の自宅外活動の機会が少ない。同様に，高齢者は非高齢者に比べ約3時間の自宅外活動の機会が少ない。このことは，移動頻度の少ない人に対して外出が容易になる環境を整備すると，自宅外活動をより多く行うことができる余裕が生じることを示唆している。

3.3. 世帯に着目した時間データの分析

本研究の調査は世帯単位で行ったので，世帯属性の違いによる分析結果の比較が可能である。そこで，3-2の個人属性による時間配分の違いが当てはまると考えられる2人世帯高齢夫婦型の世帯のタイプについて，同様の分析を行う。

図4，5に2人世帯高齢夫婦型の活動時間配分と移動時間配分を示す。夫と妻の間では，就業と自宅での活動・移動時間に違いがある。自由活動は妻より夫の方が長い。買物について，活動時間はほぼ同じであるが，移動時間では妻で長くなっている。

この世帯タイプでは，夫は就業時間が長いにもかかわらず自由時間が長く，妻は就業時間が短いにもかかわらず

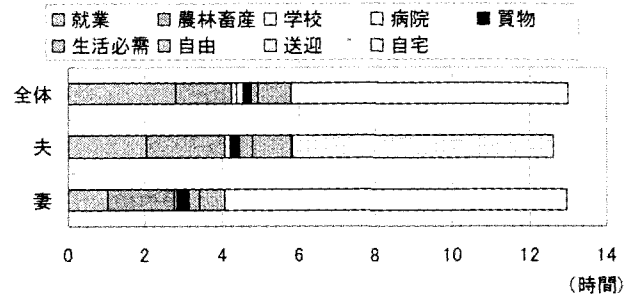


図4 2人世帯高齢夫婦型の活動時間配分

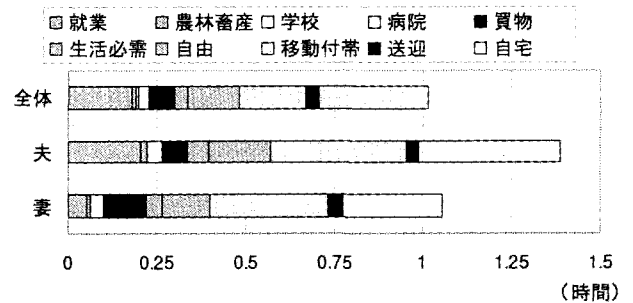


図5 2人世帯高齢夫婦型の移動時間配分

ならず自由時間が短くなっており，夫と妻の関係が免許証保有の有無による送迎者・被送迎者の関係にあると考えられる。

4. まとめ

本研究では，中山間地域の高齢者世帯を対象としたアクティビティ・ダイアリー調査より得られた個人属性データと時間データの集計分析を行った。個人属性のデータを用いた集計分析では，中山間地域における移動制約者は高齢者・免許証非保有者であることが分かった。時間データを用いた集計分析では，移動制約者は一日平均3～3.5時間の自宅外活動の機会が少ないことを確認した。また，2人世帯高齢夫婦型の世帯のタイプにおける時間データの集計分析では，就業時間と自由時間の関係より，夫と妻の関係が送迎者・被送迎者の関係にあることが考えられる。今後は，中山間地域の送迎交通をより詳細に実態把握を行うために，2者間の相互依存関係について分析する必要がある。

謝辞

本調査の実施にあたり，中国地方中山間地域振興協議会，島根県中山間地域研究センターに多大な協力を賜りました。ここに謝意を表します。